

第 1 回 岐阜支部評議会 の 概要 報告

開 催 日 時	平成 30 年 6 月 12 日 (火) 10 : 00 ~ 11 : 30
開 催 場 所	濃飛ニッセイビル地下 1 階 会議室
出 席 評 議 員	紀ノ定議長、梅津評議員、中山評議員、宇野評議員、 辻評議員、村瀬評議員、佐伯評議員
議 題	<p>(1) 岐阜支部事業計画について【資料 1】</p> <p>(2) 平成 29 年度岐阜支部事業実施状況報告について【資料 2】</p> <p>(3) 岐阜支部データヘルス計画について【資料 3】</p> <p>(4) その他【資料 4】</p>
議 事 概 要	<p>議事に先立ち、坂正光氏より平成 30 年 3 月 31 日付で評議員辞退の申し出があったことに伴い、新たに梅津美香氏を平成 30 年 4 月 1 日付で評議員として委嘱したことを報告。</p> <p>議題 1. 岐阜支部事業計画について</p> <p>事務局より【資料 1】に沿って、修正事項について説明を行った。</p> <p>【主な意見等】</p> <p>(学識経験者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動で「認知度」が加わった理由は何か。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本部が昨年度行ったアンケートを今年度も実施し、どの程度認知度が上がったかを検証することとなっている。 <p>(学識経験者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支部独自で実施するなら分かるが、本部が実施するものを岐阜支部の事業計画に盛り込む必要があったのか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見として本部に報告する。 <p>(学識経験者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標が「前年度以上」だと分かりづらいので、数値も盛り込んだほうが良い。 <p>議題 2. 平成 29 年度岐阜支部事業実施状況報告について</p> <p>事務局より【資料 2】に沿って説明を行った。</p> <p>【主な意見等】</p> <p>(被保険者代表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協定を締結する自治体を選ぶ上で、優先度のようなものがあるのか。

(事務局)

- ・現在、支部からは自治体に対して協定締結を働きかけておらず、自治体側からの打診により協定締結に至った。

(被保険者代表)

- ・自治体との連携状況を見ると、西濃地域への働きかけが少ないように感じる。

(事務局)

- ・現在は協定締結をした後の事業連携に重点を置いている。
- ・飛騨、東濃地域は協働に積極的だが、西濃地域での協定締結は1市のみ。その1市とも十分な協働ができているとは言えないので今後の課題としていく。

(被保険者代表)

- ・レセプト点検と債権回収の実績には、1件で約2,000万円の労災案件が含まれているとのことだが、そこまで金額が大きくなった要因は何か。

(事務局)

- ・怪我の程度や入院期間が延びたことが要因となったと思われる。2,000万円のうち、現物給付分が1,900万円、現金給付分が100万円となっている。

(被保険者代表)

- ・金額が大きくなる前に動くことはできなかったのか。

(事務局)

- ・レセプト到着後は速やかに負傷原因照会、調定、返納金の回収を行った。

(学識経験者)

- ・もう少し詳細を教えていただくことはできるか。

(事務局)

- ・調べて、あらためて報告する。

(学識経験者)

- ・事業者健診データの提供依頼をしたことによる効果を教えてほしい。

(事務局)

- ・生活習慣病予防健診は受けていないが、労安法による事業者健診を受けている事業所からデータ提供をしてもらうことで、受診率の向上や保健指導に繋がる。事業者健診データの取得は前年度比118%となっている。

(学識経験者)

- ・運輸業界等、生活習慣病予防健診の受診率が低い業態もあると思うので、今後の取組にも期待している。

(学識経験者)

- ・債権回収率の目標を設定した根拠は。

(事務局)

- ・債権残高が1億円を切ることを推計して目標設定を行った。

(学識経験者)

- ・目標が100%ではなく70.03%ということは、どこかに既に回収できない見込みであるということか。

(事務局)

- ・時効が10年間のため、現年度のみならず過年度の債権も含まれている。債務者が外国人等で現在国外にいると思われるような場合、実質的に回収は困難である。経済的事情等で分割返納となり長い時間を要する場合もある。

(学識経験者)

- ・債権放棄をすることはしないのか。

(事務局)

- ・自己破産や相続放棄のようなケースでは償却することができるが、債務者が外国人で国外にいる、などの理由では償却できない。

(学識経験者)

- ・がん検診チラシを受診券発送時に同封するというのは具体的にどのようなものか。

(事務局)

- ・5月に特定健診の受診券を発送しているが、自治体を実施するがん検診のチラシを同封する等により、同時受診を図るもの。

(学識経験者)

- ・がん検診の受診率向上は大きな課題なので、今後他の自治体にも広げてもらいたい。

(事業主代表)

- ・保健指導等を土日を活用して行うことはできないか。

(事務局)

- ・現在、外部委託機関にて土日夜間対応をしており、平日昼間に時間の都合がつかない事業所には案内を行っている。

(学識経験者)

- ・お客様満足度調査の結果を受けて、どのような取り組みを行っていく予定か。

(事務局)

- ・指摘を受けた項目について、支部内研修を実施してスキルの向上を図る。

議題3. 岐阜支部データヘルス計画について

事務局より【資料3】に沿って説明を行った。

【主な意見等】

(学識経験者)

- ・支部の課題抽出段階で喫煙・塩分摂取に着目したということだが、飲酒習慣についてはあまり特徴的な結果はなかったのか。

(事務局)

- ・飲酒の面では特徴的なものは見られなかった。

(学識経験者)

- ・塩分の摂取量が多い、というのは予測にすぎないと思うが、データとして把握するための取組の予定はあるのか。

(事務局)

- ・血中塩分測定は協会の検査項目では困難なのが現状。保健指導時に話を聞くと、熱中症対策として過剰に塩分摂取をしているケースが見受けられるので、適正量を意識してもらおう働きかけを行いたい。

(学識経験者)

- ・データがなければ予想の範囲を出ないので、それを目標にするのは無理がある。

(事務局)

- ・減塩に力を入れている自治体もあるので、連携しながら具体的なデータを用いた事業展開をしていきたい。

(事業主代表)

- ・塩分摂取の適正量というのは、なかなか分かりづらいのでは。

(事務局)

- ・チラシ等でお示しできるようにしていきたい。それと同時に、摂取控えで熱中症になってしまうことがないように情報発信をしていく。

(学識経験者)

- ・岐阜県の方は車を使うことが多いと思うので、それが運動不足になっているのかもしれない。

(事務局)

- ・ウォーキングなど楽しく取り組むことができるものを推奨していきたい。個人ではなかなか難しいということであれば、会社単位で参加いただけるような機会を提供していきたい。

(学識経験者)

- ・健康経営も今後進めていただきたい。

(学識経験者)

- ・運動している人が少ない、夜食をとる人が多い、ということが問診票で分かるとのことだが、その原因までデータとして取れば対策がしやすい。

議題 4. その他

事務局より【資料 4】に沿って、高山年金事務所の協会けんぽ相談窓口の終了（案）について説明を行った。

【主な意見等】

(意見・異議なし)

特 記 事 項

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・傍聴人 1 名（支部職員）・次回開催は平成 30 年 7 月 19 日（木）10：00～ |
|--|